

2024年度事業計画

INDEX

- 基本的な考え方と事業展開の枠組み 1
- I. 価値創出・課題解決プロジェクト 2~15
- II. 経営基盤強化パッケージ 16~22
- III. インフラ整備、提言・要望 23~24
- IV. 組織基盤の強化・支部の活動 25~26
- 中期計画における評価指標 27
- 部会・女性会・専門委員会 主要活動一覧 28~37
- 本会議所が事務局を担当する団体等一覧 38
- 組織図 39

挑戦都市
やってみなはれ!
大阪プラン

大阪商工会議所

The Osaka Chamber of Commerce and Industry

基本的な考え方と事業展開の枠組み

- 中期計画「挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン(2023~25年度)」の中間年度として、成果拡大をめざし、中堅・中小企業の新分野への挑戦を支援する「価値創出・課題解決プロジェクト」と、変化する経営環境への対応を支援する「経営基盤強化パッケージ」を精力的に実施する。
- 2025年大阪・関西万博に向けた機運醸成や国内外の観光客受入準備に加え、大阪ヘルスケアパビリオンの出展支援等、万博後も見据えた社会課題解決に貢献するイノベティブなビジネス創出を促進する。
- 部会・委員会・支部が積極的に参画・連携した取り組みを展開するとともに、組織基盤の強化につとめる。

中期計画
2023~25年度

挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン

大阪の国際競争力強化と持続的成長

ユーザーをも巻き込んで
未来をデザイン

2025年大阪・関西万博・スーパーシティ

若者活躍・挑戦応援

I. 「価値創出・課題解決プロジェクト」

1. ものづくり×イノベーション
2. ウェルネスビジネス創出
3. 都市魅力再構築
4. まちなかりビングラボ

II. 「経営基盤強化パッケージ」

5. 稼ぐ力強化
6. 人的資本強化
7. 商流創造・グローバル展開

III. インフラ整備、提言・要望

IV. 組織基盤の強化

I. 価値創出・課題解決プロジェクト

※事業名右側の番号は、
中期計画「挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン」の事業番号に対応
※2024年度からの新たな取り組みは下線で記載
※各事業を所管する部会・委員会名を記載

凡例：
 ① 中期計画
事業番号

 委員会名
 部会名

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2023年12月末時点

次世代テックフォーラムの運営 ①

事業概要

情報・通信

デジタル変革

- ① 先端技術のビジネス活用に関心を持つ企業が集うフォーラムを設置し、技術分野ごとの分科会(クラスター)で情報提供やマッチングを行い、ビジネス化を支援する。

2023年度実績

- ① 7月にフォーラムを立ち上げ、「AI」「モビリティ」「新エネルギー」の3つの分科会(クラスター)を設置。全体で5回の例会と2回の特別見学会を開催し、最新技術の動向や活用事例について情報提供した。3月に分科会横断全体会議を開催。

評価指標

- ① 分科会(クラスター)参加企業：81社

気付き・課題

- ① 参加企業からマッチングの要望があった。また、イノベーション創出に向けて、領域を横断するテーマ設定も重要。



キックオフシンポジウム

2024年度計画

- ① 既存の「AI」「モビリティ」「新エネルギー」の分科会(クラスター)では、最新技術情報の提供だけでなく、最新技術を活用した製品・サービス開発に関するマッチング、実証実験等の支援を実施する。また、新たに「宇宙」「新素材」の分科会を増設し、既存分科会を含めた全5クラスター分野を融合させた横断的なソリューションやイノベーションを創出していく。

2025年度目標

- ① 各分科会で、参加企業等の新製品・サービス、ビジネス開発を支援し、事業化をめざす。

メタバースビジネス創出プラットフォームの運営 ②

事業概要

情報・通信

デジタル変革

- ① 様々な規模・業種の企業による、メタバースを活用した新製品・サービス開発を支援するため、最新情報の提供や先進事例の発表、関心企業のマッチングを行う。

2023年度実績

- ① 7月にプラットフォームを設置。11月に例会を開催し、メタバースビジネスの先進事例紹介や展示に加え、協業に向けた関心企業のマッチングを行った。3月には近畿経済産業局と連携し、XR関連企業28社のビジネスマッチングを目的とした体験型イベントを開催。



フォーラムでのXRサービス体験

評価指標

- ① 参加企業：43社、マッチング：7件

気付き・課題

- ① ビジネス創出のためには、実際のメタバース空間内におけるプロダクト等の実証が必要。

2024年度計画

- ① 新たにメタバース空間内に実証フィールドを設け、サービスやコンテンツ等の作成販売を目指す企業を支援する。また引き続き最新の技術情報、ハード・ソフト両面でのユースケースの紹介を行う。

2025年度目標

- ① 具体的なビジネス化、およびその社会実装を支援。万博を意識したコンテンツの実証、実装イベントの実施。

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2023年12月末時点

SDGs/ESGプラットフォームの運営 ③

事業概要

産業・スタートアップ

国際ビジネス

- ① 中小企業等のSDGs/ESG対応を支援するため、セミナーやコンサルティング、脱炭素技術に関する企業等とのマッチング、展示商談会等を実施(2021年度より)。
- ② 海外企業とのマッチング等を行い、海外販路開拓を支援する。(2022年度より)。

2023年度実績

- ① 10月に名古屋商工会議所と連携し「グリーンテックマッチング会」を開催したほか、展示商談会「カーボンニュートラル・チャレンジフェア」「SDGsカフェ」等を実施。3月に大商会員対象に脱炭素アンケート調査を予定。
- ② 英国のマンチェスター大学(4月)やタイ企業(6月)とのマッチング会を実施。



SDGsカフェで提供した
チョコレートでできた
食べられるストロー

評価指標

- ① 参加企業：1,375社(プラットフォーム登録社)、コンサルティングサービス利用：4社、マッチング：34件
- ② 参加企業：195社、マッチング：20件

気付き・課題

- ① CO2排出量算定の取り組みは中小企業にも着実に拡大。更なる取り組みの支援ニーズ把握が必要。
- ② 海外、特にASEANの販路拡大のニーズが強い。

2024年度計画

- ① 技術ニーズマッチング(名商、東商と連携)、展示商談会、コンサルティングを継続実施する。参加者の声を踏まえて企業ニーズに合致した支援を行う。
- ② ASEAN各国企業に、日本企業のグリーンテックを紹介するセミナーやマッチング会、視察団派遣等を行う。

2025年度目標

- ①・②グリーンテック関連のマッチング機能の拡充。

グローバル・イノベーションフォーラムの運営 ④

事業概要

国際ビジネス

国内外の企業連携によるオープンイノベーション創出を目指すグローバルイノベーションフォーラム(GIF)の開催(2019年度より)。

- ① GIFミートアップ：海外スタートアップによるピッチ、国内企業とのマッチング支援等。
- ② GIFチャレンジ：国内スタートアップの海外展開支援。

2023年度実績

- ① 地域別(欧州・中東、北米・ラテンアメリカ、アセアン)に3回、オンラインによるピッチ・商談会を開催した。
- ② CES(米国)に共同出展をブースを設け、国内スタートアップの海外展開支援を行った(1月)。

評価指標

- ① ピッチ・セミナー等参加者数：160人
商談会参加企業：14社
- ② CES出展企業：22社

気付き・課題

- ① 国内スタートアップの海外展開意欲が高まっており、支援ニーズが高い。

2024年度計画

- ① 海外スタートアップ(北米・欧州・ASEAN・大洋州)によるピッチを随時開催。
- ② 従来のCES(米国)に加え、新たにStartup Innovation Thailand Expo(タイ)への出展支援も行い、国内スタートアップの海外展開支援を強化する。

2025年度目標

- ① 万博を機に来阪する海外スタートアップとの連携による国内企業のビジネス創出支援。
- ② 国内スタートアップの海外展開支援事業拡大



CES(米国)への出展支援

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2023年12月末時点

大商スタートアップリンケージ拡充プログラム 「Daisho Start-up Operation(DSO)」の展開 ⑤

事業概要

産業・スタートアップ

- ① COLUMBUS：全国約10都市の商工会議所等と連携し、各エリアのスタートアップや地元企業等との交流・ビジネスマッチングを実施する。
- ② U-START UP：大学発スタートアップのピッチコンテストを開催するほか、スタートアップ企業の事業計画書の作成やプレゼン力の向上等を支援する(2021年度より開始)。

2023年度実績

- ① 東京、名古屋、京都、神戸、福岡に加え、新たに札幌、仙台、広島、愛媛等全国9都市と連携したマッチング会を開催。
- ② ピッチコンテストには36社から応募があり、6社を表彰した。



9月、U-START UPの受賞者を決定

評価指標

- ① 参加企業：1,257社、マッチング：92件
- ② 参加企業：205社

気付き・課題

- ① 万博に向け、国内外の都市からスタートアップが集うマッチング機会の創出。

2024年度計画

- ① 2025年に万博会場で予定される、日本のスタートアップを世界に発信する「Global Startup EXPO 2025」プレイベントを秋頃に開催する。また各都市のスタートアップと中小企業のマッチング会も年間を通じて行う。
- ② 大学発スタートアップ支援のため、U-START UPを継続開催する。

2025年度目標

- ① 「Global Startup EXPO 2025」の開催を支援するとともに、大商独自の連携イベントを開催するなど、スタートアップと中小企業のマッチング強化。

町工場ネットワークの拡充 ⑥

事業概要

産業・スタートアップ

企業成長支援

- ① 町工場の技術や設備等の情報を共有し、受注拡大や独自製品開発に取り組む「町工場ネットワーク」を運営し、町工場の「稼ぐ力」向上を支援する(2017年度より)。
- ② 大阪ヘルスケアパビリオンへの町工場の共同出展を支援する。

2023年度実績

- ① 「ものづくり加工ネットワーク強化交流会」を2回開催(3月に1回予定)。面談を通じて協業を支援するとともに、「町工場」が直面する経営課題に対する情報提供を実施。
- ② 「リボンチャレンジ交流会」を4回開催。共同出展に向けたグループ形成を支援。出展候補企業・グループが45者形成され、20者の出展が内定した。

評価指標

- ① 参加企業：193社 マッチング：42件

気付き・課題

- ① 企業連携による製品開発経験がない町工場が多い。町工場同士の役割分担、知財関係の調整等、伴走支援が必要。



町工場ネットワーク交流会

2024年度計画

- ① 町工場同士の関係づくりを支援する「ものづくり加工ネットワーク強化交流会」を開催。
- ② 万博出展に挑む企業・グループの製品・試作品開発とさらなる連携を支援する「リボンチャレンジ交流会」を開催。

2025年度目標

- ① 交流会、万博出展等を通じて「大阪の町工場」の知名度・製品開発力の向上、企業経営力強化につなげる。

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2023年12月末時点

MoTTo OSAKA オープンイノベーションフォーラムの運営 ⑦

事業概要

産業・スタートアップ

- ① 大企業の技術ニーズや技術シーズを中小企業等につなぎ、オープンイノベーションによる新技術・新製品の開発を支援する(2009年度より)。

2023年度実績

- ① 7月に大阪ガス(株)、LG Japan Lab(株)が、12月にパナソニックグループ、ファーウェイ・ジャパン社が技術ニーズを発表、中小企業等が有するシーズとマッチング。
- ② 11月にKAHMジャパン(株)、理研鼎業(株)、近畿大学が、2月に中部電力(株)、三洋化成工業(株)、サンプロコ(株)が技術シーズを発表、各シーズを活用したい中小企業等とマッチング。
- ③ 7月に技術提案力向上セミナーを開催。
9月に経済安全保障セミナーを実施。

評価指標

- ① 参加企業：225社、
マッチング：17件
- ② 参加企業：のべ40社、
マッチング：2件



技術ニーズ
発表会

気付き・課題

- ① 国内だけでなく、海外大手企業とのマッチングニーズも高い。

2024年度計画

- ① 国内大手企業に加え、海外大手企業の技術ニーズ、海外の大学やスタートアップ等が持つ研究シーズの発表を強化し、中小企業とのマッチングを行う。「中小企業の提案力向上セミナー」のほか、海外企業と取引する際の留意点について情報提供する「経済安全保障セミナー」を開催する。

2025年度目標

- ① MoTTo OSAKAオープンイノベーションフォーラムを継続運営し、マッチング規模拡大を目指す。

繊維・アパレル産業のイノベーション促進 ⑧

事業概要

繊維

- ① 大阪ファッション産業振興フォーラムにて、先進的なビジネスモデルを紹介するセミナーや、新ビジネス開発に向けた交流会を行うとともに、「ファッション・イノベーション展」を開催。
- ② 大阪ヘルスケアパビリオンで、サステナブルをテーマとした出展展示を行う。

2023年度実績

- ① 11月に、展示商談会「ファッション・イノベーション展」を開催。
- ② 9月に出席希望企業によるプレゼン交流会を開催、グループを組成し展示テーマ等を検討。17社が出展予定。

評価指標

- ① 参加企業：450社
- ② プレゼン交流会
参加企業：25社



大阪ヘルスケアパビリオン
展示イメージ

気付き・課題

- ② 展示内容のブラッシュアップが必要。

2024年度計画

- ① 年に2~3回、各回テーマを設定して「プレゼン&交流会」を開催するとともに、11月に「ファッション・イノベーション展」を行う。
- ② 大阪ヘルスケアパビリオン出展企業の展示内容のブラッシュアップや、展示準備を進める。

2025年度目標

- ② 万博出展を通じ、未来の繊維・アパレル産業の姿を発信する。

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2023年12月末時点

融合領域の拡大による新ビジネス創出支援 ⑬

「未来の医療」の推進 ⑭

事業概要

ライフサイエンス

スポーツ産業

- ① 創薬、医療機器、ウェルネス、スポーツ各分野の実績を生かし、「優しい病院」「環境配慮の医療」「災害医療」「救命救急医療」など、社会課題に関連する医療現場のニーズをもとに課題と企業とのマッチングや解決策の実証実験を支援する。

2023年度実績

- ① 新たな取り組みとして、10月に「優しい病院」「救命救急医療」「災害医療」をテーマに共創カンファレンスを開催、12月に災害レジリエントな街・社会づくりを目指す「災害食を中心とした新産業創出共創コミュニティ」を立ち上げた。「次世代医療システム産業化フォーラム(MDF)」例会で「優しい病院」に関する医療現場ニーズ12件を提示し、関心企業とマッチングを行った。

評価指標

- ① カンファレンス参加企業：159社、
マッチング：22件、
優しい病院マッチング：37件、
災害食 参加企業：64社・機関

気付き・課題

- ① プロジェクトの具体化の加速。

2024年度計画

- ① 「災害食を中心とした新産業創出共創コミュニティ」において、具体的なプロジェクト化に向け、課題の洗い出しやコンソーシアム組成を行い、実証・実装を目指す。

2025年度目標

- ① 「未来の医療」の取り組みにおいて、領域を融合させながら、「災害食」を中心として大規模災害対応の大阪モデルの構築を目指す。



「いのち輝く未来社会」実現に向けた共創カンファレンス

ウェルネスビジネス創出支援 ⑮

融合領域の拡大による新ビジネス創出支援 ⑬

ウェルネスオフィス・プロジェクト ⑮

事業概要

ライフサイエンス

スポーツ産業

- ① 「ウェルネスオフィス・プロジェクト」において、日常生活の中で継続的に利用される「ココロとカラダ」のヘルスケア(非医療)の実現に向け、スタートアップや中小企業と大企業等とのマッチングを行い、オフィス等の空間で個人の健康状態を計測し健康増進を図る製品やサービスの開発を支援する。また、大阪ヘルスケアパビリオンへの出展を支援する。

2023年度実績

- ① 新たな取り組みとして、「ウェルネスオフィス・プロジェクト」を立ち上げ、7月に「未来のウェルネス実装ネットワーク」を開催。万博出展企業を募集し、12月に「未来のウェルネスピッチ」を開催、出展候補32者を決定した。

評価指標

- ① 参加企業：145社、マッチング：580件、
万博応募案件：66件

気付き・課題

- ① ウェルネスビジネスの実証・実装支援の強化が必要。出展企業の継続的なメンタリング・フォローアップが必要。

2024年度計画

- ① 中小企業・スタートアップのメンタリングや、スタートアップや中小企業と大企業とのマッチングなど、事業化の支援を強化する。また、万博出展候補者を対象にブートアップセミナーやメンタリングを実施する。出展プロダクトのβ版を公開し、ユーザーからフィードバックを得る。

2025年度目標

- ① 「ウェルネスオフィス・プロジェクト」の中で、
 - ・取り組みテーマの拡充、事業化に向けた企業チームの組成
 - ・万博会場外の大阪市内におけるショーケースの検討
 - ・万博 大阪ヘルスケアパビリオン出展



「未来のウェルネスピッチ」で万博出展候補者を決定

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2023年12月末時点

創薬支援 プラットフォームの運営 ⑨

事業概要

ライフサイエンス

- ① 国内外の大学、研究機関、バイオベンチャー等の研究成果の製薬企業への移転を促進するため、「創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク(DSANJ)」(2000年度に設置)を運営し、創薬シーズと製薬企業の個別マッチングを行う。

2023年度実績

- ① 前年度に引き続き、創薬シーズと製薬企業のマッチング会「DSANJ Digital Bio Conference」を8月と1月に開催。

評価指標

- ① 参加企業：42社、商談件数：666件

気付き・課題

- ① 創薬シーズの継続的な発掘・収集が必要。

2024年度計画

- ① 引き続き、国内外の創薬シーズを広く収集し選別のうえ、面談マッチングを夏期と冬期に実施する。

2025年度目標

- ① 「創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク(DSANJ)」のシーズ発表者・参加企業のネットワークの拡充。

医療機器ビジネス支援 プラットフォームの運営 ⑩

事業概要

ライフサイエンス

- ① 医療現場のニーズをもとに、企業と医療機関のマッチング、医療機器開発支援を行う「次世代医療システム産業化フォーラム(MDF)」を運営する(2003年度に設置)。

2023年度実績

- ① 前年度に引き続き、医療現場のニーズを発表し、企業とのマッチングを行う「医工連携マッチング例会」を8回開催。「デジタル医療」「再生医療」「看護・在宅医療」「介護・福祉」の分科会における情報提供や産学連携、逆見本市等による企業間連携、医療従事者による製品・サービス評価事業等の支援を実施。

評価指標

- ① 参加企業：122社、マッチング：141件、個別事業化相談数：424件、事業化件数：4件

気付き・課題

- ① 医療現場のニーズは医療手技に限らず幅広く、多様な会員企業の活躍の余地が残っている。

2024年度計画

- ① 医療現場の課題やニーズをより広く収集する。万博や「優しい病院」などをテーマとして設定し、より多くの企業参画を促す。

2025年度目標

- ① 「次世代医療システム産業化フォーラム(MDF)」における事業化支援の拡充。

医療機器ビジネスの 途上国市場開拓支援 ⑰

事業概要

ライフサイエンス

- ① 国内企業の途上国市場展開を支援するため、JICA関西センターと連携し、途上国(ブラジル、バングラデシュ、モンゴル等)の現地医療機関の医療機器や設備、情報システム等に関する課題と日本企業とのマッチングを行う。

2023年度実績

- ① 新たな取り組みとして、モンゴルの現地医療関連企業、病院から課題汲み取りを行った。また、モンゴルからの課題提案を受け、企業とのマッチング検討開始。

評価指標

- ① マッチング：7社18件
(現状では全件進捗の見込みあり)

気付き・課題

- ① 対象とする途上国市場の慎重な見極めと、日本企業への現地事情の情報提供が必要。
① マッチング後、当該国向けの製品開発を支援する体制が必要。

2024年度計画

- ① JICAから途上国の現地ニーズの提供を受け、ニーズ説明セミナーを開催。課題解決策を提示できる日本企業を募り、現地医療機関や現地企業とのマッチングを行う。当該国向けの製品開発を支援する。

2025年度目標

- ① 現地ニーズと日本企業とのマッチングの、他の途上国への拡大。

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2023年12月末時点

スポーツ産業の振興 ⑫

ライフサイエンス

スポーツ産業

事業概要

- ① 京阪神3会議所によるスポーツ産業振興プラットフォーム「スポーツハブKANSAI」(2017年に設置)を運営し、スポーツに関する課題やシーズと関心企業のマッチング会、共同研究や事業開発を伴走支援する。
- ② 一般市民が参加する体験型イノベーションショーケース「Ex-Cross」で実証やマーケットサウンドを支援する。

2023年度実績

- ① 6月に「スポーツハブKANSAI」ビジネスマッチング例会を1回開催。
- ② 11月にてんしば(天王寺公園)でEx-Crossを開催し、40,289人が来場。

評価指標

- ① 参加企業：62社、マッチング：22件、事業化支援件数：14件、事業化件数：8件
- ② 参加企業：26社、実証件数：4件



体験型イノベーションショーケース「Ex-Cross」

気付き・課題

- ① スポーツ・ヘルスケア分野のビジネスニーズが高い。
- ② 一般市民が参加する実証・マーケットサウンドの機会が非常に貴重。

2024年度計画

- ① シーズを継続的に収集し、マッチング例会を実施するほか、連携案件の伴走支援、共同研究、事業化を支援する。
- ② サービス実証や関連企業のマーケットサウンドの機会を提供する。

2025年度目標

- ①②まちづくりプロジェクトや万博と連携した、実証プロジェクトの開始。

多国間メドテックアクセラレーション事業 ⑬

ライフサイエンス

事業概要

- ① 豪州のアクセラレータと連携し、日本、豪州、シンガポール、インドの支援ネットワークを通じて、スタートアップや中堅・中小企業の海外展開や販路拡大等を支援する。

2023年度実績

- ① 新たな取り組みとして、4~12月にかけて、国内外の医療系スタートアップを発掘・育成する「ORIGIN」事業と、国内のスタートアップや大阪・関西の中堅・中小企業の海外展開を支援する「GLOBAL NAVIGATOR」事業を実施。海外企業・投資家に対するピッチやネットワーキング、販路開拓等の機会を提供した。

評価指標

- ① 参加企業：22社、支援件数：7件、事業化・投資件数：2件

気付き・課題

- ① 万博と連携した国内外医療系スタートアップのピッチコンテストの大阪開催。そのための豪州アクセラレータとの連携強化。

2024年度計画

- ① 継続して、豪州アクセラレータと連携し、「ORIGIN」「GLOBAL NAVIGATOR」を実施する。日本、豪州、シンガポール、インドの4カ国の支援機関との支援ネットワークを強化する。2025年度に支援プログラムの最終ピッチコンテストを大阪で開催するため、予算確保や関係機関との調整を行う。

2025年度目標

- ① 豪州のアクセラレータと連携した支援プログラムの最終ピッチコンテストを大阪で開催し、世界へのPR機会とする。

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2023年12月末時点

都市魅力の再構築

18

事業概要

都市活性化

- ① 万博開催時の魅力発信事業の推進体制を構築する。
- ② 水と光による都市魅力の再構築に取り組む(2001年度より)。
- ③ 新たにwebクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」実施。

2023年度実績

- ① 6月に、まち全体で万博の盛り上がりをめざすシンポジウムを日経新聞と共催。準備会を設置し、具体検討を開始。11月に実験事業「まちごと万博カーニバル」を開催。
- ② 万博開催時の水上航路に関する説明会(7月)、夢洲と「水の回廊」を結ぶ特別クルーズ(11月、12月)を実施。
- ③ webクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」を3回実施。

評価指標

- ① 活動実績：1,650人
- ② 活動実績：説明会273人、クルーズ157人
- ③ 参加者：のべ3,206人(2回分)



気付き・課題

- ① 万博と連動したまちなかの盛り上がりを推進する体制が必要。

2024年度計画

- ① 公民連携による「大阪まちごと万博共創プラットフォーム」を新たに構築し、一体的な情報発信やエリアマネジメント団体とコンテンツを有する団体のマッチングを開始。
- ② 「水都大阪コンソーシアム」や「大阪・光の響宴実行委員会」の活動を継続支援。
- ③ 23年度に実施したアンケート調査結果をふまえ、内容を改善してwebクイズを実施。

2025年度目標

- ① 万博開催時の魅力発信を実践し、万博後の継続も検討。

グレーターミナミの活性化

19

事業概要

グレーターミナミ

- ① 大阪府南部の商工会議所、企業等で産業振興・観光交流に関する具体的な取り組みを推進。
- ② 大阪都心南部で、外国人とクリエイターを核にグローバル化とイノベーションを促進する「グローバル育成協議会」の活動を支援(2022年度より)。

2023年度実績

- ① 9月にグレーターミナミ活性化シンポジウムを開催し、地域活性化プロジェクトの進捗・成果を紹介、163人が参加した。11月にグレーターミナミ推進委員会を新設した。
- ② グローバル育成協議会において、外国人誘致・居住促進に向けた活動を支援した。

評価指標

- ① プロジェクト支援：4件
- ② プロジェクト支援：2件

気付き・課題

- ① シンポジウムの反響が大きく、活性化に向けた地元自治体等の機運が高まっている。

2024年度計画

- ① エリアの活性化に向けて協働する主体を募り、具体的なプロジェクトの組成・推進を支援するとともに、その成果をシンポジウムで発信し、新たなプロジェクトを呼び込む。また、シンポジウム開催にあたっては、万博に関連するテーマを設定する。
- ② 引き続き、「グローバル育成協議会」の活動を支援する。

2025年度目標

- 万博開催時の大阪都心部と連携した取り組み支援。



3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2023年12月末時点

食のまち・大阪のブランド向上

20

事業概要

食料

ツーリズム

- ① 次代を担うシェフを、生産者との交流等を通じて育成する。
- ② 国内外のシェフが連携する食イベントの開催等を通じて、大阪の食の魅力を海外に発信する。

2023年度実績

- ① 通常廃棄される食材を活用することでフードロス問題を考えるイベント“HAJIKKO RESTAURANT”を大阪府環境農林水産総合研究所等と連携して新たに開催（7月）。
- ② 大阪とバルセロナのシェフが共創や挑戦を図るコラボイベント“World Food Market series SPAIN”を11月に開催。1月に、大阪が誇る上質な食と伝統芸能（文楽）を組み合わせたインバウンド向けツアーを試験的に実施。

評価指標

- ① 参加店舗：4店、参加者：76人
- ② 参加店舗：12店、参加者：3,531人



文楽と食を組み合わせたインバウンドツアー実施

気付き・課題

- ① 万博の機会を活かした国内外への発信の強化。
- ② 多くの飲食店が参加でき、かつ、来街者の分散により万博の開催効果をより広域に波及させるプログラムが必要。

2024年度計画

- ① 新たな取り組みとして、大阪観光局等と連携し、飲食事業者等が万博特別メニューを考案し、SNS等で発信する「万博特別メニューでおもてなしプロジェクト(仮称)」を実施。また、大阪の飲食街をエリアごとにプロモーションする「大阪まちごとバルプロジェクト(仮称)」を実施。

2025年度目標

- ① 大阪の食の魅力発信による、より深い食体験の提供。

富裕層の戦略的誘致と滞在交流型観光の推進

21

事業概要

ツーリズム

- ① 観光コンテンツ造成支援や、インバウンドの行動調査等を通じて、国内外観光客の滞在長期化や観光消費額の増大を目指す。

2023年度実績

- ① 10月に開催された「ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西」に設けた特別ブースに企業9社が出展、販路拡大を支援。10月に東京商工会議所と、万博の機運醸成や広域周遊促進に連携して取り組む包括連携協定を締結。「#大阪ええやん知らんけどInstagram投稿キャンペーン」を実施し、7,304件の投稿を得て新たな観光魅力を発信。

評価指標

- ① 観光コンテンツ事業化：3件、
広報実績：57件、
マッチング件数：208件

気付き・課題

- ① 観光の高付加価値化に対応する観光コンテンツの創出支援が必要。万博開催効果の最大化や能登半島地震からの復旧・復興支援に向けた取り組み。

2024年度計画

- ① 高付加価値観光に取り組む先進事例や、文化施設・文化財等のユニークベニューとしての活用例等を紹介するとともに、関心事業者のマッチングを行うネットワーク交流会を開催。大商公式Instagramを継続運用し、若年層等に、万博や大阪の幅広い魅力等の情報を発信する。また、広域周遊観光、特に、復旧・復興に向け北陸への観光促進に資する情報発信等を行う。

2025年度目標

- ① 万博開催期間中の観光客の滞在長期化、観光消費額の増大。



東京商工会議所と包括連携協定を締結

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2023年12月末時点

商店街観光の振興

22

事業概要

流通活性化

- ① 国内外の観光客による商店街利用促進のため、グーグルマップへの登録支援や商店街周辺の観光資源と連携した観光振興を支援。
- ② 「100円商店街」の開催を支援(2010年度より)。

2023年度実績

- ① 22年度トライアル事業を踏まえて、グーグルマップへの登録支援を本格実施し、6者の商店街が登録。8月から玉造日之出通南商店街と周辺神社が連携し、御朱印を提示すると商店街で特典が得られる取り組みを新たに実施。10月にはICT活用を促進する「商店街シンポジウム」を開催した。
- ② 「100円商店街」実施を12回支援。



玉造日出通商店街と
周辺神社との連携事業

評価指標

- ① 支援事業実施件数：7件
- ② 支援事業実施件数：12件

気付き・課題

- ① インバウンド客対応のため、商店街店舗接客におけるスマホ翻訳などの活用をすすめる。また再開発ビル専門店街などアーケード型以外の「商店街」へも集客をはかる。

2024年度計画

- ① 万博に向け、飲食店メニューの翻訳や会話の自動通訳等、商店街店舗におけるスマホ活用セミナーを開催する。また再開発ビル専門店街を対象とした「レトロビル商店街」の情報発信を支援する。
- ② 「100円商店街」を継続して実施。

2025年度目標

- ① 万博開催期にあわせた商店街の魅力発信。

4. まちなかりビングラボプロジェクト

※評価指標の数値は2023年12月末時点

リビングラボの推進

23

事業概要

都市活性化

産業・スタートアップ

デジタル変革

- ① 大阪城東部地区において大阪公立大学や関心企業等と連携し、企業や就業者、住民が参画してニーズや課題の把握・解決を目指す「イノベーション・フィールド・シティ」を具体化する。
- ② 大阪工業大学と連携し、2018年度に開設した都心型オープンイノベーション拠点「Xport」を運営し、大企業、中堅・中小企業、スタートアップ、社会人、学生等様々な主体のマッチング・共創を通じて課題解決や新規事業の創出を支援する。

2023年度実績

- ① 新たに大阪公立大学や民間企業等とともに「大阪城東部地区イノベーション・フィールド・シティ具体化検討会 スマートモビリティ分科会」を設置し、検討を開始。
- ② 前年度に引き続き、年間通じた「会員情報交換会」等のネットワーク・マッチング事業や、企業の課題に学生チームが解決提案する産学連携PBLプログラム「RDクラブ」等を実施。また、スタートアップの遠隔受付システムの実証実験を行った。

評価指標

- ① 参加企業：8社
- ② 参加企業：829社、マッチング：11件

気付き・課題

- ① 当該地区の遊休地暫定利用に関し、企業連携のニーズあり。
- ② 学生とのマッチングをXportの強みとして改めて打ち出す。

2024年度計画

- ① 参画企業を募集し、マッチングを支援する。こうした取り組みを同地区におけるリビングラボ推進の実験事業としてPRする。
- ② 学生と企業等とのマッチングに注力して支援する。

2025年度目標

- ① 他事業とも連携し、大阪城東部地区でリビングラボを展開する。
- ② Xportの事業を継続開催し、企業のニーズと学生アイデアのマッチングを推進する。

実証事業の推進

24

事業概要

デジタル変革

- ① 実証実験を希望する企業に対し、大阪府・大阪市や民間企業の施設等のフィールド調整を行い、大阪府下での円滑な実証実験の実施を支援・促進する(2017年度より実施)。

2023年度実績

- ① 前年度に続き、大阪府・大阪市・民間企業等と連携した枠組みで以下の実証実験を支援した。
 - 5月「デジタルツイン技術を活用したARコンテンツ表示実験」
 - 9～11月「会議・イベント開催時のCO2排出量見える化実証実験」
 - 9～3月「縦型オールインワン型IoT 降雨計での集中豪雨の遠隔監視」
 - 12月「都市型自動運転船「海床(うみどこ)ロボット」による都市の水辺のイノベーションに関する実証実験」
 - 1月「中之島ロボットチャレンジ2023」

評価指標

- ① 実証実験支援：5件

気付き・課題

- ① 実証実験フィールドとして、公有地に加えて、民間企業保有施設の利用促進が必要。



海床(うみどこ)ロボット実証実験

2024年度計画

- ① 大阪府・大阪市・民間企業と連携し、引き続き実証実験の実施を支援する。また、実証実験に協力可能な民間企業保有施設の発掘や利用促進を行う。

2025年度目標

- ① 実証実験支援の枠組みを活かした万博開催時の実証実験イベント開催

2025年大阪・関西万博に向けた事業推進

※評価指標の数値は2023年12月末時点

万博に向けた機運醸成・参画支援

25

事業概要

万博協力推進本部

- ① 会員企業や商店街等の協力、商工会議所ネットワークの活用を通じて、万博の機運醸成活動を行う。
- ② 万博への参画を希望する企業を対象にした情報提供を行う。
- ③ 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会や国、自治体等と連携し、若手人材の参画促進や万博開催時の来訪者受け入れを検討・実践する。

2023年度実績

- ① 6月に、関西商工会議所連合会「2025年大阪・関西万博機運醸成WG」を設置し、一体的なPRを展開。
鳥井会頭を座長、廣瀬副会頭を副座長とする万博懇話会を4回開催し、議論内容を関係先に共有。
- ①②万博関連情報をメール配信、ホームページ、機関紙等で発信し、機運醸成や前売り入場チケットの販売を促進。
企業参加メニューを紹介する説明会等を13回開催。

評価指標

- ① 万博の機運醸成活動 400件
- ② 万博への参画に関する情報提供 30件

気付き・課題

- ① 万博後の未来社会に関する議論の機会が必要。
- ③ 来場者輸送や視察受け入れ等、万博開催時の対応準備。

2024年度計画

- ① 引き続き、会員企業や商店街連携、全国の商工会議所ネットワークを通じ、万博1年前、100日前等の節目を活かし、機運醸成に取り組む。
新たに、世界経済フォーラムのGlobal Shapersとともに、万博のテーマウィーク事業に参画し、未来社会創成に向けた調査研究・発表活動を支援する。
- ③ 万博開催時の水上航路実現に向けた実証ツアーの実施等、来場者輸送に協力するとともに、関西商工会議所連合会WGにおいて、全国の商工会議所からの視察受け入れ、関西各地への周遊を促す対応準備を進める。

万博関連受発注支援サイトの運営

37

事業概要

企業成長支援

- ① 大阪・関西万博に関連する各種受発注案件に、大阪府下の企業や全国の商工会議所・商工会企業が応募・提案できる「万博関連受発注支援サイト」を、大阪府とともに、新たに設置・運営する。

2023年度実績

- ① 新たな取り組みとして、6月に「万博商談もずやんモール」を設置。大阪府等と連携し、万博関連の発注案件の掲載、ユーザー登録を促進。同時に、ビジネスモール内に設置した「BM万博商談」と自動連携し取引活性化を目指す。



評価指標

- ① 受注希望者登録数 632件

気付き・課題

- ① 23年度は万博会場の工事関連等の案件が中心。24年度は開幕が近づき、より幅広い中小企業向け発注案件を見込む。

2024年度計画

- ① 「万博商談もずやんモール」を運営するとともに、発注案件や売り手企業の登録等を促し、サイトの活性化を図る。

大阪ヘルスケアパビリオン出展支援

②6

事業概要

万博協力推進本部

- ① 大阪産業局とともに企画運営を担う大阪ヘルスケアパビリオンの中小企業・スタートアップ展示ゾーンの準備を進める。
- ② 本会議所が出展企画を担う5件のテーマについて、具体化を進める。

2023年度実績

- ① 全26テーマで、出展企業を募集し、決定。
- ② 本会議所が支援する5件についても、合同説明会や、テーマごとの募集、グループ化等の準備を進め、出展企業を決定。

評価指標

- ① 中小企業・スタートアップ展示ゾーンへの参画・支援実績 1,025件

気付き・課題

- ①②円滑な展示のための準備、出展企業のPR

2024年度計画

- ①②1週間毎の展示が円滑に準備できるよう、調整支援を行うとともに、「展示・出展ゾーン」の出展企業のPRを行う。



大阪ヘルスケアパビリオン
提供：(公社)大阪パビリオン

本会議所からの出展企画

- Series A; セレクション ～輝く未来社会の創り手ここにあり～
主に「B2C」事業を展開する中小企業・スタートアップによる、先端技術等を活用した「見て、触れて、楽しんで」もらえる実商品の展示
- 身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が解決します！
国内外から募集した身近な困り事や課題をもとに町工場起点の独自製品の開発・展示を支援
- サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクト
繊維に関わる大阪の中小企業の交流・協力により、繊維・ファッション産業の未来につながる「透明になる服」「空中に浮かぶ靴」「エアバッグ再生服」などを展示
- ウェルネスを実現するテクノロジーと空間
～カラダ(フィジカル)の健康と美容を実現するオフィス～
～ココロとアタマの健康を目指したオフィス～
心身の健康維持増進を目指す「ウェルネスオフィス」をテーマに、個人の健康状態を計測しその増進を図る製品やサービスを展示

万博関連事業

<産業振興>

- 「Global Startup EXPO 2025」プレイベント (⑤)
2025年に万博会場で予定される、日本のスタートアップを世界に発信する「Global Startup EXPO 2025」プレイベントを開催
- メドテックスタートアップピッチコンテストの25年大阪開催準備 (⑩)
日本、豪州、シンガポール、インドの支援ネットワークによる、ピッチコンテストの25年大阪開催準備
- 大阪城東部地区におけるリビングラボ推進 (⑳)
参画企業を募集し、実証実験のマッチングを支援
- 「大阪ええもんみつけ商談会」 (㉓)
大阪みやげを対象とした商談会を、複数回シリーズで開催
- 日本アセアンビジネス促進プラットフォーム (㉔)
25年にアセアン各国を招いて行う商談会等の開催準備

<都市魅力創出>

- 「大阪まちごと万博共創プラットフォーム」 (㉕)
公民連携による「大阪まちごと万博共創プラットフォーム」を新たに構築し、一体的に情報発信
- 「万博特別メニューでおもてなしプロジェクト(仮称)」 (㉖)
大阪観光局等と連携し、飲食事業者等が万博特別メニューを考案し、SNS等で発信
- 「大阪まちごとバルプロジェクト(仮称)」 (㉗)
大阪の飲食街をエリアごとにプロモーション
- 「商店街の魅力発信」 (㉘)
飲食店メニューの翻訳や会話の自動通訳等、商店街店舗におけるスマホ活用を促進。「レトロビル商店街」の情報発信支援

※ () 内番号は、中期計画の事業番号。各事業ページにも掲載

II. 経営基盤強化パッケージ

5. 稼ぐ力強化パッケージ

※評価指標の数値は2023年12月末時点

経営基盤強化

27

事業概要

企業成長支援

- ① 経営相談やマル経融資等による資金繰り支援を行う。
- ② 弁護士等による専門相談を実施する。
- ③ 創業支援のための講座や相談を実施する。
- ④ BCP策定支援を行う。
- ⑤ 「ビジネス総合保険」等、事業リスク保険の普及を促進する。
- ⑥ 中小企業のインボイス制度対応を支援する。
- ⑦ 会員同士の交流を促進する会合等を開催する。
- ⑧ 講演会や視察会等、部会員の経営に役立つ情報を提供する。

2023年度実績

- ④ BCP策定支援セミナーを6回実施。
- ⑥ 10月に施策普及員が個別訪問しインボイス対応状況を確認。

評価指標

支援企業数 ①経営相談：1,004件、マル経融資：666件 ②875件
③932件 ④143件 ⑥1,522件 ⑤3保険の新規契約者数：424件
⑦参加者数：757人

気付き・課題

- ① 多様化する経営課題への適切な支援策の提供。健康経営実践のための具体支援の提供。
- ⑦ コロナ禍で途絶えた、会員交流機会創出の工夫。

2024年度計画

- ① 新たに、脱炭素やDX等様々な経営課題の支援機関が一堂に集結し、中小企業にアドバイスする「課題解決型マッチングフェア」を開催する。また「健康経営優良法人」取得等、健康経営に取り組む企業を具体的に支援するセミナーや個別相談会を夏頃に実施する。
- ③ 女性起業家支援のためのセミナー・勉強会を実施する。
- ⑦ 小規模な会員交流会やビジネス講演会を開催し、販路開拓や課題解決につなげる。

事業再生・事業承継支援

28

事業概要

企業成長支援

- ① 大阪府中小企業活性化協議会を運営し、事業再生等を支援する。
- ② 大阪府内の金融機関等に、案件持込や連携を働きかける。
- ③ 大阪府事業承継・引継ぎ支援センターを運営、事業承継ニーズを発掘し、相談対応等の支援を行う。
- ④ 第三者承継の成約、事業承継計画策定支援に注力する。

2023年度実績

- ① ホームページでのPRを強化し、企業からの直接相談を促した。
- ② 金融機関での案件集中相談会・勉強会や、他の支援機関との連携会議などを行い、案件の持込・連携を促進した。
- ③ 支援機関や金融機関等と連携して職員向け事業承継勉強会、経営者向け相談会、セミナーに講師・相談員派遣を行った。
- ④ 民間M & A 仲介会社等と連携して、第三者承継を完了させた。外部専門家を活用して事業承継計画を策定した。

評価指標

- ① 窓口相談件数：335件、支援完了件数：80件
- ③ 相談対応件数：859件
- ④ 第三者承継成約件数：123件、事業承継計画策定件数：80件

気付き・課題

- ① 活性化協議会で、資金繰りが逼迫した事業者の相談が増加。
- ② 支援センターへは、経営不振の小規模企業からの相談が増加。

2024年度計画

- ① 活性化協議会と事業承継・引継ぎ支援センターの連携・情報交換を深め、事業再生と事業承継の一体的、連続的な支援を行う。
- ② より多くの金融機関等と連携して案件を掘り起こし、相談対応、ハンズオン支援を行う。



第三者承継の成約の様子

5. 稼ぐ力強化パッケージ

※評価指標の数値は2023年12月末時点

収益力強化

29

事業概要

企業成長支援

- ① 新事業創出を支援するため、「デザイン思考」を習得する実践型ワークショップを開催する。
- ② 高付加価値商品の開発を支援するワークショップを実施するとともにバイヤー等とのマッチング会を開催する。

2023年度実績

- ① 前年度に続き、デザイン思考の実践型ワークショップ（6～7月、全4回）、新事業創出の個社への伴走支援を実施。
- ② 新たに、新商品開発ワークショップを実施（9～12月、全4回）、バイヤーへの成果発表・マッチング会を開催（1月）。

評価指標

- ① 支援企業：126社
- ② 支援企業：27社

気付き・課題

- ① 商品化には、ワークショップ後の伴走支援（資金・技術、知財面も含む）が必要。
- ② 既存商品の課題改善等、中小企業が取り組みやすいプログラムも重要。

2024年度計画

- ① 「デザイン思考」を用いた新サービス創出をめざすワークショップを開催するとともに、専門家による事業化までの支援を強化する。
- ② 自社ブランド商品の開発を支援するゼミ、バイヤーとのマッチングに加え、商品化までの伴走支援や商業施設・展示会出展等の支援を拡充する。アイデア創出や既存商品の改善による実現可能性の高い開発を支援するワークショップ、個別相談、伴走支援を実施する。



バイヤー等から新商品プランに対してアドバイスを受ける

生産性向上（IT導入支援）

30

事業概要

企業成長支援

- ① 一次的な相談窓口「ITコンタクトデスク」を設置し、課題に応じた支援メニューを紹介する。
- ② 「IT・ビジネスアプリ導入サポートデスク」で、小規模事業者のアプリ導入を支援する。
- ③ ITツールやシステムを紹介するフォーラムを開催するほか、ITサービスを提供する。
- ④ 「商工会議所サイバーセキュリティお助け隊サービス」を実施する。

2023年度実績

- ② インボイス制度や電子帳簿保存法改正に対応するデジタル化を中心に支援。
- ③ 9月に中小企業DXセミナーを開催。
- ④ 販売連携先を増やし、全国にサービスを拡大。



中小企業DXセミナー

評価指標

- ① 支援企業：37社
- ② 支援企業：89社
- ③ サービス導入企業数：147社
- ④ サービス導入数：443社・555台契約

気付き・課題

- ② 人手不足を軽減するITツール導入のニーズ
- ④ サイバー攻撃が巧妙化するなか、中小企業の一層の対策強化が必要。

2024年度計画

- ② 人手不足に悩む小規模事業者に、業務効率化に資するITツールの導入提案を強化する。
- ④ さらに連携先を増やし「商工会議所サイバーセキュリティお助け隊サービス」を拡大する。

6. 人的資本強化パッケージ

※評価指標の数値は2023年12月末時点

社会人の学び直し支援

③1

事業概要

人材育成

- ① 技術革新や新たなビジネスモデルに対応できる人材育成のため、大学等と連携したリカレント教育プログラムを実施。
- ② 社会人の能力・スキルの向上(リスキリング)を図る実務研修を開催する。



女性リーダー育成カレッジ



パソコン教室

2023年度実績

- ① 大阪・関西圏の大学と連携し、女性リーダーやデジタル人材の育成プログラムや、ダイバーシティ・マネジメント講座を実施。
- ② 社会人向け実務研修を48講座実施。また、パソコン教室を5教室展開。

評価指標

- ① 参加者数：470人
- ② 参加者数：801人

気付き・課題

- ① デジタル、経営・マネジメントなどの分野に企業の関心が高い。
- ② リスキリングに関しては、特にデジタルスキルの底上げに課題を持つ中小企業が多い。

2024年度計画

- ① 大学等と連携して高度専門分野人材の育成を目指し、リカレント教育プログラムを実施する。
- ② デザインソフトを活用したデザインスキルやプレゼンテーションスキルなどの実務講座を実施するとともに、パソコン教室を運営する。

多様な人材の活躍推進

③2

事業概要

人材育成

- ① 女性・外国人・高齢者・障がい者等多様な人材の確保・活躍推進に関するセミナー・交流会を開催。
- ② 女性リーダー層の拡大を目指し、「活躍する女性リーダー表彰」(愛称 ブルーローズ表彰)を実施。
- ③ 「OSAKA外国人材受入促進・共生推進協議会」等への参画を通じ、企業の外国人材活用を支援する。

2023年度実績

- ① 5月に障がい者雇用への理解促進に向けたセミナーを実施、9月には外国人留学生の採用・活躍に成功している企業事例を紹介するセミナーを実施。
- ② 前年度に引き続き「ブルーローズ表彰」を実施し、38人が受賞。
- ③ 協議会に参画し、外国人材の受入・共生について議論。

評価指標

- ① 参加者数：1,991人
- ② 受賞者数：38人

気付き・課題

- ① 中小企業の外国人材への関心は高まりつつあるが、接点をもつ機会が少ない。
- ② 女性リーダー拡大の課題として、社内にモデルとなる先輩が少ないことをあげる声が多い。女性リーダーの発掘・紹介は後進女性の大きな励みになる。

2024年度計画

- ① 外国人材活躍に向けて、大学等と企業による「外国人留学生採用のための情報交換会(仮称)」を新たに実施。また、技能実習制度に代わる新制度や女性・高齢者・障がい者・外部人材の活躍推進に関するセミナー等を実施。
- ② 「ブルーローズ表彰」を実施。
- ③ 「OSAKA外国人材受入促進・共生推進協議会」等に参画する。



ブルーローズ表彰

6. 人的資本強化パッケージ

※評価指標の数値は2023年12月末時点

若手人材の確保・活躍支援

33

事業概要

人材育成

- ① 若手人材のキャリア形成を支援するとともに、ネットワーク構築につながる事業を開催。
- ② 若手人材の確保を支援するため、大学と企業との情報交換会を実施。
- ③ 採用担当者同士の情報交換やネットワーク構築を支援するため、セミナー等を開催

2023年度実績

- ① 新たに「若手社員キャリアデザイン塾」を開催(全3回)。
- ② 「大学等と企業との就職情報交換会」を開催。56大学出席。
- ③ 新卒採用支援セミナー、人事と学生の交流会等を9回(大阪府や近経局の主催事業の共催を含む)開催。

評価指標

- ① 参加者：45人
- ② 参加者：396人(245社)
- ③ 参加者：1,515人(共催含む)



若手社員キャリアデザイン塾

気付き・課題

- ① 中小企業の若手社員の定着・活躍を推進するには、キャリア形成の支援が必要。若手社員のモチベーション向上、企業を超えたネットワークの構築、成長機会の創出が課題。

2024年度計画

- ① 「キャリアデザイン塾」(夏頃)に加え、若手社員自らが活動テーマを決め共創する「ツナガル若手共創プロジェクト」(仮称)を実施。
- ② 「大学等と企業との就職情報交換会」(10月)を開催。
- ③ 「採用担当者のための情報交換会」、「新卒採用支援セミナー」等を開催。

中小企業の人材育成支援

34

事業概要

人材育成

- ① 階層別、分野別の公開型研修、講師派遣型研修、チェンバーカレッジを開催するとともに、優良商工従業員表彰を実施する。
- ② 「メンタルヘルス」「ビジネス会計」検定試験の全国実施、日商・東商と共催で検定試験を実施する。
- ③ 大阪企業家ミュージアムを運営し、企業家精神の伝承に取り組む。

2023年度実績

- ① 年間136件の公開講座を実施予定。チェンバーカレッジ11回開催。優良商工従業員表彰は208人を表彰。
- ② メンタルヘルス、ビジネス会計など16種類の検定を実施。3検定の受験対策WEB講座を開講。
- ③ 常設展示のほか、万博関連を含む特別展示を3回実施。



大阪企業家ミュージアム展示エリア

評価指標

- ① 参加者数：5,724人(公開研修2,538人、講師派遣型研修786人、チェンバーカレッジ1,623人)
- ② 申込者数：検定62,528人、受験対策WEB講座1,025人
- ③ 入館者数・利用者数：11,886人

気付き・課題

- ① 改善力や問題解決力を養成する講座のニーズが高い。人手不足が深刻化するなか、人材定着・能力向上の支援が一層重要。
- ② 企業へのアプローチを強めるなど、検定の更なる普及拡大を図る。
- ③ 企業・団体及び大学生の更なる来館を促す。

2024年度計画

- ① 階層別研修に加え、これから求められるスキル(IT、プレゼン等)の研修、また受講者同士の交流に繋がる研修を強化し、満足度を高める。
- ② 経産省が推進する「健康経営優良法人」制度と連携した、「メンタルヘルス」検定試験の更なる認知度向上などに取り組む。
- ③ 万博の機運醸成に資する特別展示を行うとともに、企業・団体(人事担当者)、大学へのアプローチを強化する。

7. 商流創造・グローバル展開パッケージ

※評価指標の数値は2023年12月末時点

商談会の開催

35

生活用品

小売

流通活性化

事業概要

- ① 多業種型総合商談会「大阪勧業展」、売り込み型商談会「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」等を開催する。
- ② 商談会の参加企業のニーズ等各種データの活用を進め、商談精度の向上等に取り組む。

2023年度実績

- ① 10月に「大阪勧業展」、11月に「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」、各回1社のバイヤーを招く「ザ・ベストバイヤーズ」を9回開催。
- ② QRコードによる来場者管理と売り手の関心事項のデータ化。

評価指標

- ① 商談数：7,361件
- ② 成約（見込）数：1,634件

気付き・課題

- ① 万博を見据え、大阪みやげの発掘と販売機会の創出。
- ② 売り手や買い手データの活用推進。



10月、大阪勧業展を開催

2024年度計画

- ① 新たに、大阪みやげを主な対象とした「大阪ええもんみっけ商談会」を、複数回シリーズで開催する。
- ② 売り手と買い手の参加企業情報や関心事項等の各種データを活用し、商談精度の向上を図る。

ザ・ビジネスモールを活用した 商談機会の創出

36

企業成長支援

事業概要

- ① 全国の商工会議所・商工会と連携し、会員企業のPR情報、商談案件をインターネットで公開する商取引支援サイト「ザ・ビジネスモール」を運営する。
- ② 各地会議所・商工会が主催する商談会の出展者情報をビジネスモールに登録し、全国に常時提供する仕組み「BMイベント（仮称）」を実施する。

2023年度実績

- ① 参加団体558、登録企業約29万社、商談案件823件掲載。

評価指標

- ① 商談件数 1,876件

気付き・課題

- ①② リアルの商談情報とウェブサイトの商談情報のリンクによる商談機会の拡大



ザ・ビジネスモール トップページ

2024年度計画

- ① 「ザ・ビジネスモール」のさらなる登録、活用を促す。
- ② 新たに、各地会議所・商工会が主催する商談会への出展情報を「ザ・ビジネスモール」に集約し、全国に発信するポータルページ「BMイベント（仮称）」を開設する。

7. 商流創造・グローバル展開パッケージ

※評価指標の数値は2023年12月末時点

日本アセアンビジネス促進プラットフォーム ③⑧

事業概要

貿易

国際ビジネス

- ① アセアン市場への参入やビジネス拡大を支援するため、関心企業のプラットフォームを組成し、販路開拓や投資等に関する情報提供を行う。
- ② アセアン各地の商工会議所等と連携し、セミナーや商談会、現地視察等を実施する。

2023年度実績

- ① 4月に、大阪、シンガポール、タイ、ベトナムの4商工会議所でプラットフォームを設立。2月にインドネシア、フィリピン、マレーシアが参画予定。国内では、6月に12会議所が参加するネットワークを設置。
- ② セミナーや商談会等を29回実施。



大阪、シンガポール、タイ、ベトナムの4商工会議所でプラットフォーム設立

評価指標

- ① プラットフォーム登録者：1,790人
- ② セミナー等参加者：2,749人、商談件数：162件

気付き・課題

- ① アセアン市場のビジネス拡大に、企業のニーズが大変高い。大商がハブとなって、アセアン連携国と国内会議所のネットワークを拡大する。

2024年度計画

- ② ニーズが高い「販路開拓」「グリーン」「イノベーション」を中心テーマに、セミナーや商談会、現地視察等を実施する。国内ネットワークを活用し、互恵的な事業を実施する。拡大した7ヵ国に係る双方向・多国間連携事業を実施する。

グローバル化支援 ③⑨

事業概要

貿易

国際ビジネス

中国ビジネス

- ① 海外各国のセミナーや商談会、現地視察等を実施し、中小企業の海外投資や販路開拓に加え、関連実務を含めて支援する。
- ② 中小企業の海外展開を図るため、貿易証明書、特定原産地証明書の発給等を行う。
- ③ EPA特定原産地証明書の活用に向け、EPA相談事業や申告書作成代行サービスを実施する。
- ④ 国内外のビジネスマンや在日外国公館等に向けて大阪をPRするとともに、大阪外国企業誘致センター（O-BIC）で、外国企業の大阪進出を支援する。

2023年度実績

- ① 海外販路開拓、海外投資等をテーマにセミナーや商談会を77回実施。タイ、中国、インドに視察団派遣のほか、インドネシア・オンライン視察開催（プレセミナー含め約200人参加）。
- ④ 在日外国公館等を対象とした大阪PRイベントを6月（28人）、12月（36人）、2月（13人）開催。2月には初の大阪紹介オンライン視察会を開催し国内外から100人が視聴。

評価指標

- ① 参加者数：15,711人
- ② 貿易証明発給件数：一般 57,852件、EPA特定原産地証明53,596件
- ③ EPA相談件数：750件/その他中国相談56件、アセアン相談20件
- ④ 誘致企業数：25件

気付き・課題

- ① 万博を機に、海外各国から大阪への表敬交流機会が増加。
- ② オンラインの貿易証明利用件数が急増。

2024年度計画

- ①・④ 万博を活かし、大阪プロモーション等を実施するほか、貿易促進のため海外各国とのセミナーや商談会を開催。
- ② 貿易証明の発給、貿易実務セミナーや相談事業を実施する。



大阪外国企業誘致センターは大阪府・大阪市と連携して運営

Ⅲ. インフラ整備、提言・要望

インフラ整備 提言・要望

インフラ整備

④

建設・建材

運輸

都市活性化

国際ビジネス

事業概要

- ① 北陸新幹線の大阪延伸に向け、要望や機運醸成を実施する。
- ② リニア中央新幹線の全線開業に向け、要望や機運醸成を実施。
- ③ 大阪・関西万博の重要なアクセスルートとなる淀川左岸線延伸部の整備等について要望活動を実施する。
- ④ 関西国際空港の容量拡張等について要望等を行うとともに、食品輸出拡大に資するセミナー・商談会を開催する。
- ⑤ 夢洲や新大阪周辺地域の万博後を見据えた魅力ある都心づくりに関する意見発信・機運醸成や、整備計画の具体化を実施。

2023年度実績

- ① 北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会(7月)や北陸・関西連携会議会頭会合(2月)で早期大阪延伸を求める決議を採択。
- ② 12月に三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会にて、早期全線開業の実現等を決議した。
- ③ 10月に淀川左岸線2期等の早期整備に向けた予算確保を要望。
- ④ 6月の第13回関西3空港懇談会で関西国際空港の発着容量拡大に向けた新たな飛行ルートが国から提示された。
- ⑤ 新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会会議の下に設置された関連部会で、民間開発促進のための機運醸成等を議論。

気付き・課題

- ①②③④⑤ 継続的な要望・提言が必要

2024年度計画

- ① 北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会や北陸・関西連携会議等を通じ、引き続き早期延伸に向けた要望等を行う。
- ② 引き続き、早期全線開業に向けた要望・機運醸成を行う。
- ③ 万博会場へのアクセスルート利用に向け、引き続き、淀川左岸線2期の整備等を要望する。
- ④ 引き続き関西国際空港の発着容量拡大に向けて取り組む。
- ⑤ 新大阪駅周辺のまちづくり等に継続して参画する。

国・自治体への政策提言・要望活動の実施

④

経済政策・法規

税制

中堅・中小

都市活性化

万博協力推進本部

事業概要

- ① 国・地元自治体等に対し、大商中期計画の推進をはじめ、会員企業の経営環境改善(中小企業対策、税制改正等)、成長戦略、まちづくり等幅広いテーマでの政策提言・要望活動を実施する。

2023年度実績

- ① 6月に、2024年度中堅・中小・小規模企業対策要望、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)関連事業に関する要望を建議。8月に、京阪神三商工会議所2023年度ライフサイエンス産業振興にかかる要望を建議。9月に、2024年度税制改正に関する要望、大阪府・大阪市の2024年度予算等への要望を建議。
- ① 11月に円安、1月に能登地震の影響に関する調査を実施。

気付き・課題

- ① 企業の経営実態の的確な把握、タイムリーな要望・提言が必要

2024年度計画

- ① 会員企業対象の経営・経済動向調査や小規模企業対象の景況調査等を随時実施する。国・地元自治体等に対し、中小企業対策、税制改正、産業振興等、幅広いテーマで、機動的に政策提言・要望活動を実施する



8月、更家中堅・中小企業委員長から、須藤中小企業庁長官に要望



11月、西村税制委員長から、太田房江参議院議員に要望

IV. 組織基盤の強化・支部の活動

組織基盤の強化

効果的な広報・PR活動

- 会員と本会議所をつなぐ機関紙「大商ニュース」やホームページ、本会議所事業を紹介した「大商便利帖」、大商メールステーション、フェイスブック等のSNSの活用により、本会議所事業の広報・PRを精力的に行う。
- ソーシャルメディア/SNSを活用し、これまで接点がなかった層への発信を図るとともに、大商の伴走支援による中小企業の販路開拓や新分野進出の成功事例をわかりやすく紹介し、会員企業の経営改善を支援する。
- 「挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン」を推進するシンポジウムを新聞社と数回共催するとともに、本会議所の活動が一層マスメディアに取り上げられるよう、報道関係者への「提案型」広報に注力する。

3万会員維持・会員満足度向上

- 安定的な3万会員を維持するために、新規会員勧誘活動と会員継続促進活動を展開する。
- 本会議所が実施する会員に役立つ事業を紹介して、加入を促すとともに、会員の事業・サービス利用の増加を目的とした会員満足度向上活動、会員ニーズに即した事業紹介・広報等に取り組む。
- こうした活動を通じて本会議所のファンを拡大し、事業の価値の共有と会員満足度の向上を図る。

支部の活動

- 経営指導員が巡回訪問し、金融、事業承継、IT化、販路開拓等、伴走型経営相談を行う。
- 小規模事業者経営改善資金融資(マル経融資)等、金融に関する説明会・個別相談会を開催する。
- 各地域のニーズ・特性に応じた地域活性化事業・小規模事業者支援事業等を実施する。
 - 北支部：経営力向上支援事業、商店街集客支援事業
 - 東支部：中小企業の生産性向上支援、東部商店街にぎわい創出事業
 - 中央支部：BCP策定支援事業、ミナミ活性化事業
 - 西支部：西部エリア「え〜もん市」、ものづくり加工ネットワーク強化交流会
 - 南支部：あべの天王寺・サマーキャンパス、「逸品マルシェ」販売促進支援事業
ものづくり加工ネットワーク強化交流会、経営力向上支援事業



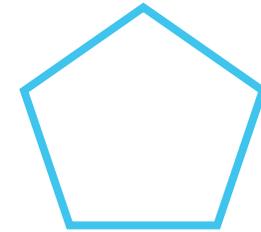
中期計画における評価指標

中期計画で設定したプロジェクト・パッケージの各事業の評価指標をもとに、進捗状況を把握しながらPDCAサイクルを回す

全体指標

5つの視点(五角形)で、初年度を100として増減率をみる

- | | | |
|------------|---|-----------------|
| ①組織評価 | ▶ | 会員数 |
| ②事業評価 | ▶ | のべ事業利用数 |
| ③成長支援評価 | ▶ | プラットフォーム参加数 |
| ④事業インパクト評価 | ▶ | メディア掲載件数(web含む) |
| ⑤情報伝達評価 | ▶ | ホームページビュー総数 |



プロジェクト・パッケージ評価指標

プロジェクト・パッケージの事業ごとに、参加数、事業化支援件数、商談数、相談件数等の評価指標を設定し、各指標が対前年度比増加したかをみるあわせて事業利用会員企業の声もふまえ、プロジェクト・パッケージの評価を行う

参考指標

計画全体、各プロジェクトの参考指標として分野別統計指標を設定し、経年変化をみる
例：景気動向指数、GDP成長率(国との比較)、分野別統計指標、該当事業所数(国との比較、全国シェア)

部会・女性会・専門委員会 主要活動一覽

部会・女性会 主要活動一覽(会員数は2024年3月15日現在)

部会 【 】は担当部署	所属業種	会員数	主たる活動・具体的な事業
マテリアル 部会 【産業部】	金属鉱業、金属製品・ 材料製造・加工・卸売 業等	1,659	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会等の開催) ・講演会テーマ：ものづくりの振興に役立つ研究内容(DX等)等 ○新入社員向け研修見学会、部会員向け視察会 ○他部会・委員会との連携による相互交流促進
機械 部会 【産業部】	機械器具・同部品製 造・卸売・修理・賃貸 業等	2,496	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・視察会等の開催) ・講演会テーマ：DX推進による生産性向上や新規事業開発に取り組む企業の最新動向等 ・視察先：優れた技術や製品、ユニークな取り組みを有する先進的な企業の工場等 ○他部会・委員会との連携による相互交流促進
化学・エネルギー 部会 【産業部】	化学製品製造・卸売業、 医薬品製造業、燃料製 造業、電気業、ガス業、 熱供給業、水道業等	1,838	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会等の開催) ・講演会テーマ例：環境・エネルギー関連政策の動向、化学・エネルギーに関連する技術開発動向、多様な企業の環境に関する取り組み、環境重視の経営戦略等 ○他部会・委員会との連携による相互交流促進
繊維 部会 【流通・サービス産業部】	繊維・衣服等繊維製 品・身の回り品製造・ 加工・卸売業等	1,139	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪ヘルスケアパビリオン出展支援 ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会の開催) ・講演会テーマ例：最新のファッショントレンド、業界動向等 ・見学候補先：繊維産地・施設等 ○繊維ファッション産業振興事業の実施 ・大阪ファッション産業振興フォーラムの実施 先進企業の事例紹介、新技術のプレゼンテーション、交流会、ファッション・イノベーション展の開催 ○大阪クリエイトフェアの実施(百貨店での販売機会の提供を通じて中小企業の販路開拓、企業成長を支援) ○他部会等との連携による相互交流促進
建設・建材 部会 【地域振興部】	林業、土木建築工事業、 建築業、木材・木製品 製造業、建物サービス 業、設備工事業等	4,124	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会等の開催) ・講演会テーマ例：建設業界の人材育成、持続可能な建設業に向けた環境整備等 ○部会内及び他部会との連携による相互交流促進
貿易 部会 【国際部】	各種商品輸出入業等	1,239	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会等の開催) ・講演会テーマ例：国際経済情勢、通商施策やFTA等 ○国際ビジネス支援(人材育成含む) ・貿易実務・国際ビジネス実務セミナー等の開催 ・貿易関連施設視察(オンライン含む) ○そのほか、貿易関連支援事業 ・貿易関連証明書の発給 ・EPAを利用した海外販路開拓支援 ○他部会・委員会との連携による相互交流促進

部会・女性会 主要活動一覽(会員数は2024年3月15日現在)

部会 【 】は担当部署	所属業種	会員数	主たる活動・具体的な事業
小売部会 【流通・サービス産業部】	各種商品小売業 等	1,784	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供 ・小売業の動向・流通先進事例を紹介する講演会・見学会の開催 ・個店や商店街等の経営改善に役立つ講演会等の開催 ○他部会・委員会との連携による相互交流促進
生活用品部会 【地域振興部】	皮革製品・家具・文具・楽器・装飾品・貴金属・履物・玩具・陶磁器・建具・家庭用品製造・卸売業 等	1,186	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会等の開催) ・講演会テーマ例：広報・マーケティング事例、消費者動向、市場動向、経営論、経営戦略等 ○部会内及び他部会との連携による相互交流促進
紙・印刷部会 【総務企画部】	パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷業、製版業、製本業、印刷に伴うサービス業 等	956	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会等の開催) ・見学先：先端的な取り組みを行う企業施設やプロジェクト関連施設、各種産業関連施設・工場等 ○他部会との連携による相互交流促進
食料部会 【地域振興部】	農業、漁業、食料品・飲料製造・卸売業、飲食店 等	2,146	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会の開催) ・講演会テーマ例：万博における食関連事業の動向、食業界のトレンド、食関連企業の経営戦略、食のSDGs、食業界における人材確保・育成など ・見学会テーマ例：先進的な取り組みを行う食品工場・飲食店等 ○他部会との連携による相互交流促進
金融部会 【総務企画部】	銀行・信託業、投資業、証券業、保険業、保険媒介代理業、保険サービス業、商品取引業、その他金融業 等	531	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会の開催) ・講演会講師例：日本銀行幹部、財務省幹部、金融庁幹部、経済財政報告執筆責任者、学識経験者 ○他部会との連携による相互交流促進
運輸部会 【地域振興部】	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業、倉庫業、運輸に付帯するサービス業 等	1,229	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会の開催) ・講演会テーマ例：空港、港湾、鉄道、高速道路等の交通・インフラをめぐる問題、関西における交通・観光政策、2025年大阪・関西万博に関する交通対策等 ○他部会との連携による相互交流促進
サービス産業部会 【流通・サービス産業部】	不動産業、物品賃貸業、旅館、駐車場、人材派遣業、デザイン業、警備業、教育施設、廃棄物処理業、経営コンサルタント、その他サービス業 等	7,068	<ul style="list-style-type: none"> ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会の開催) ・講演会テーマ例：景気動向、新ビジネスや新サービス、DX、都市開発、サービス業の動向・先進事例のほか、各種経営課題等 ○分科会(不動産分科会、経営理念分科会、人材育成分科会)の開催 ○他部会・委員会との連携による相互交流促進

部会・女性会 主要活動一覧(会員数は2024年3月15日現在)

部会
【 】は担当部署

所属業種

会員数

主たる活動・具体的な事業

情報・通信
部会
【産業部】

新聞業、出版業、通信業、放送業、情報サービス・調査業、広告業等

2,050

- 部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会の開催・視察団の派遣)
 - ・講演会テーマ：業界動向や国内外の先進事例等
 - ・視察先：ビジネスの参考となる情報・通信分野の先進地域
- デジタル技術等の次世代技術を活用した、既存産業の高度化や新規ビジネスの開発支援(デジタル変革推進委員会との共管)
 - ・次世代テックフォーラムの運営
- 様々な規模や業種の企業における、メタバースを活用したビジネス創出支援(デジタル変革推進委員会との共管)
 - ・メタバースビジネス創出プラットフォームの運営
- 他部会・委員会・団体との連携による相互交流促進

女性会
【総務企画部】

女性経営者・幹部

256

- 女性経営者・幹部の資質向上
 - ・講演会・セミナー、経営事例発表会等の開催
 - ・委員会を通じた活動推進・相互研鑽、機関誌「女性会NOW」の発行
- 女性経営者同士の交流・ネットワーク拡大
 - ・全国商工会議所女性会連合会、関西商工会議所女性会連合会、大阪府商工会議所女性会連合会の総会・講演会・研修会への参加や国内外の女性経営者・幹部との交流・懇談会の開催
- 女性起業家育成の支援
 - ・女性起業家大賞の推薦・表彰

専門委員会 主要活動一覽

委員会
【 】は担当部署

主たる活動・具体的な事業

経済政策・法規
委員会
【総務企画部】

- 企業の経営環境の改善や、大阪・関西の活力増進、わが国経済の力強い成長の実現に向け、政府・日本銀行・地方自治体等の経済財政政策、金融政策、産業振興施策や、企業法制の整備等に関する意見、要望の建議
- 政策提言活動の精力的実施
 - ・調査や委員会、幹事会での議論を通じた会員企業の経営課題や政策ニーズの把握・意見取りまとめ
 - ・政府関係機関や与党、地方自治体等との対話活動の強化、日本銀行総裁との懇談会の開催
- 「経営・経済動向調査」、「中小企業の資金調達に関する調査」等の実施
- 法律懇話会、企業法実務基礎講座の開催
- 最新情報の提供
 - ・法改正や制度変更に応じたセミナー・説明会等の開催

税制
委員会
【総務企画部】

- 中小企業をはじめ企業の成長力強化・活力増進、地域経済の活性化を図る税体系の構築に向けた要望の建議(「次年度税制改正に関する要望」等)
- ・調査や委員会、幹事会での議論等を通じた会員企業の意向反映、与党や政府関係機関への要望活動の精力的実施

中堅・中小企業
委員会
【総務企画部】

- 中堅・中小・小規模企業の成長力強化・経営課題への対処・活力増進に向けた意見、要望の建議(「中堅・中小・小規模企業対策に関する要望」等)
- 調査の実施
 - ・政策ニーズや経営課題を把握するため、会員企業を対象にアンケート調査等を実施
- 政策提言活動の精力的実施
 - ・調査や業種(部会)・支部代表との意見交換会、委員会での議論を通じた会員企業の経営課題や政策ニーズの把握・意見のとりまとめ、与党・政府関係機関への要望活動の実施等
- 最新情報の提供
 - ・法改正や制度変更に応じたセミナー・説明会等の開催

専門委員会 主要活動一覽

委員会
【 】は担当部署

主たる活動・具体的な事業

ライフサイエンス
振興委員会
【産業部】

- 医療機器開発等の振興
 - ・医療機器等開発支援プラットフォーム「次世代医療システム産業化フォーラム(MDF)」の実施
 - ・医工連携やニーズシーズマッチングや事業化支援
 - ・MDF分科会の運営(デジタル医療、看護・在宅医療、介護・福祉、再生医療等)
 - ・国立病院機構大阪医療センターや国立循環器病研究センター、医薬基盤・健康・栄養研究所等との連携事業の実施
 - ・多国間メドテックアクセラレーション事業の実施
 - ・途上国市場開拓事業の実施
 - ・「未来の医療」(優しい病院、環境配慮の医療など)実現に向けた事業の実施
- 創薬分野の振興
 - ・創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク(DSANJ)の運営
 - ・DSANJ Bio Conferenceの実施
- ウエルネスビジネスの創出(スポーツ産業振興委員会との共管)
 - ・ウエルネス・オフィスプロジェクトの実施
 - ・健康増進に寄与する製品・サービス開発を目指す企業コンソーシアム形成に向けたワークショップの実施
- Well-Being融合領域イノベーション会議(仮称)の開催(スポーツ産業振興委員会との共管)
- 京阪神三商工会議所ライフサイエンス振興懇談会の実施
- うめきた2期、大阪城東部地域、中之島等、都市開発プロジェクトとの連携事業の実施

スポーツ産業
振興委員会
【産業部】

- スポーツ関連産業の振興
 - ・スポーツ分野における新たなビジネス創出を促進するプラットフォーム「スポーツハブKANSAI」の運営 ・関係企業・団体等との連携による、ビジネスマッチングや実証研究の場の提供 ・スポーツ・ウエルネス拠点の形成に向けた活動
- スポーツイベント等の各種支援
 - ・大阪・関西におけるスポーツ団体の活動への協力
- ウエルネスビジネスの創出(ライフサイエンス振興委員会との共管)
 - ・ウエルネス・オフィスプロジェクトの実施
 - ・健康増進に寄与する製品・サービス開発を目指す企業コンソーシアム形成に向けたワークショップの実施
- Well-Being融合領域イノベーション会議(仮称)の開催(ライフサイエンス振興委員会との共管)

専門委員会 主要活動一覽

委員会
【 】は担当部署

主たる活動・具体的な事業

ツーリズム
振興委員会
【地域振興部】

- 観光の高付加価値化と滞在交流型観光の推進
 - ・大阪・関西万博に向けて、国内外から大阪を訪れる観光客の周遊促進、長期滞在、観光消費額の拡大を目指し、食や文化をはじめとする観光魅力の発信と創出に取り組む。観光サービス事業者やユニークベニュー等の観光施設運営事業者を対象としたシンポジウムやセミナーを開催し、事業者間のネットワークを構築することで、これまでにない新たな観光コンテンツの造成を支援する。
- 大阪の食ブランド向上
 - ・豊かな食文化を有し、多様で実力ある飲食店が数多く集積する「食のまち・大阪」の魅力を効果的に編集・発信する。
- 大阪MICE戦略の推進、及びIRに関する対応
 - ・MICE推進委員会や大阪MICE戦略検討会議、IR推進会議への参画を通じた協力、本会議所の意見表明
- 大阪観光局(DMO)等との連携による観光及び文化振興事業の実施

都市活性化
委員会
【地域振興部】

- 都市魅力の再構築
 - ・WEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」等の実施を通じた大阪への郷土愛(シビックプライド)の醸成
 - ・水と光を活かした都市魅力の創造
 - ・大阪都心部のエリアマネジメントを推進する企業や団体との連携による公共空間の活用促進や万博を見据えた魅力発信
 - ・大阪城東部地区におけるまちづくりの推進、都市景観の魅力発信
- 都市インフラの整備促進
 - ・道路・港湾・鉄道、空港等の大阪・関西の都市インフラの整備促進(北陸新幹線及びリニア中央新幹線の早期全線開業、淀川左岸線延伸部や大阪湾岸道路西伸部等高速道路ネットワークの早期完成、関西国際空港の機能強化などに向けた要望等)

グレーター
ミナミ
推進委員会
【地域振興部】

- グレーターミナミの活性化
 - ・グレーターミナミエリア全体の魅力づくりを推進するシンポジウムの開催
 - ・グレーターミナミエリアにおける活性化プロジェクトの組成に向けた支援
 - ・「グローバル育成協議会」を通じた大阪市内(グレーターミナミ・シティ)における留学生の就労・起業の支援、グローバル化とイノベーションを促進する仕組みの構築推進
 - ・ミナミ活性化協議会等を通じた安心安全のまちづくり

専門委員会 主要活動一覧

委員会
【 】は担当部署

主たる活動・具体的な事業

産業技術振興・
スタートアップ
連携委員会
【産業部】

- ものづくり×イノベーションプロジェクト
 - ・中小企業等のSDGs/ESGに資する企業活動を促進し、グリーンイノベーションの推進を支援する「SDGs/ESGプラットフォーム」の運営(※国際ビジネス委員会との共管)
 - ・地域間の連携によるスタートアップの市場開拓や、新たな技術・ソリューションを有するスタートアップと既存企業の連携によるイノベーション創出を支援する「スタートアップ支援事業」の推進
 - ・技術探索を支援するオープンイノベーション支援事業を通じた新技術・製品開発、新ビジネスの創出を行う「MoTTto OSAKA オープンイノベーションフォーラム」の運営
- まちなかりビングラボプロジェクト
 - ・企業や住民等の参画による新たな価値やビジネスの創出を目指す「リビングラボ」の推進(※デジタル変革推進委員会との共管)
 - ・都心型オープンイノベーション拠点「Xport」の運営支援(※デジタル変革推進委員会との共管)
- 国・自治体等への政策提言・要望活動の実施

デジタル変革
推進委員会
【産業部】

- ものづくり×イノベーションプロジェクト
 - ・デジタル技術等の次世代技術を活用した、既存産業の高度化や新規ビジネスの開発を支援する「次世代テックフォーラム」の運営(※情報・通信部会との共管)
 - ・企業の規模や業種に関わらず、メタバースを活用したビジネスの創出を支援する「メタバースビジネス創出プラットフォーム」の運営(※情報・通信部会との共管)
- まちなかりビングラボプロジェクト
 - ・企業や住民等の参加による新たな価値やビジネスを創出するための「リビングラボの推進」(※産業技術振興・スタートアップ連携委員会との共管)
 - ・都心型オープンイノベーション拠点「Xport」の運営支援(※産業技術振興・スタートアップ連携委員会との共管)
 - ・次世代都市の空間情報プラットフォームを備えたオープンな実証フィールド「コモングラウンド・リビングラボ」の運営支援
 - ・新ビジネスを創出するため、大阪のまちなかをフィールドとした「実証事業の推進」
- 国・自治体等への政策提言・要望活動等の実施
 - ・大阪におけるスーパーシティ/スマートシティの形成に向けた情報提供、提言意見・要望活動等の実施
 - ・国・自治体に対するデジタル変革に関する分野に関する政策提言・要望活動の実施

専門委員会 主要活動一覽

委員会 【 】は担当部署	主たる活動・具体的な事業
<p>企業成長 支援委員会 【中小企業振興部、 経営情報センター】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○取引促進・販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・町工場ネットワーク事業、2025大阪・関西万博出展支援 ・ザ・ビジネスモールによる企業の商取引拡大支援 ・万博関連受発注支援サイトの運営 ○金融支援 <ul style="list-style-type: none"> ・地元金融機関と連携した金融と経営支援の一体的取り組みの推進 ・「マル経融資」の利用促進 ○事業継続・自己変革支援 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府事業承継・引継ぎ支援センターならびに大阪府中小企業活性化協議会の運営 ・事業継続力強化支援事業 ・デザイン思考による企業変革力強化支援事業、自社商品開発支援事業 ・新規事業・新商品開発講座 ・各種共済・保険等の活用 ○経営改善・情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・法律、税務、IT、労務、新事業開発、ものづくり・技術、営業・マーケティング等の専門相談、専門家派遣型経営相談事業の実施 ・インボイス制度への対応支援、中小企業の生産性向上支援事業、ビジネス講演会、法律講演会の実施、給与計算処理サービスの提供 ・IT導入支援、中小企業向けサイバー攻撃対策支援 ○創業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・創業応援セミナー、開業スクール、女性起業支援セミナー、女性のためのスモールビジネス勉強会 ・地域金融支援ネットワークによる創業支援、「開業サポート資金」の普及促進 ・創業支援のための各種相談事業の実施
<p>国際ビジネス 委員会 【国際部】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ものづくり×イノベーション <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル・イノベーション・フォーラム（GIF）による国内外スタートアップと企業のオープンイノベーション促進 ・SDGs/ESGビジネス促進プラットフォームによる国際グリーンテックオープンイノベーション ○商流創造・グローバル展開 <ul style="list-style-type: none"> ・日本アセアンビジネス促進プラットフォーム等を活用した販路開拓やスタートアップとの協業、グリーン分野での事業連携促進 ・グローバルバイヤーズ（海外販路開拓商談会、輸入ビジネスマッチング等） ・外国要人・ミッション、在日外国公館・団体等への魅力発信、万博を含む大阪ビジネスの対外プロモーション及び外資誘致 ・英文メールマガジン、英文HP等による情報発信 ・貿易関連証明の発行（電子化発給制度の整備含む） ・TPP11、日EU EPA、日英EPA及びRCEPの活用推進 ・大阪の国際ビジネス環境整備に向けた意見・要望の建議
<p>中国ビジネス 委員会 【国際部】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○商流創造・グローバル展開 <ul style="list-style-type: none"> ・中国とのビジネス機会創出（商談会や交流会の開催、越境EC等を利用した販路拡大の支援、ミッション派遣、海外展示会等への共同出展等） ・中国ビジネス相談、セミナー等を通じた情報提供 ・中国ビジネスにかかわる企業交流の場となる「中国ビジネスプラットフォーム」の充実・活性化 ・大阪のプロモーション及び外資誘致 ・中国要人・ミッション、在日外国公館・団体等への魅力発信 ・中国語HP等による情報発信

専門委員会 主要活動一覽

委員会
【 】は担当部署

主たる活動・具体的な事業

流通活性化 委員会

【流通・サービス産業部】

- 商談会の開催によるビジネス拡大
 - ・売り込み型の大型商談会「買いまっせ！ 売れ筋商品発掘市」の開催
 - ・個別商談会「ザ・ベストバイヤーズ」「ザ・ライセンスフェア」「大阪ええもんみっけ商談会」の開催
 - ・「大阪勧業展」の開催
- 商店街の集客支援
 - ・「100円商店街」「開運商店街」「スマートフォンなどICT活用」「レトロビル商店街」等の商店街の集客支援事業
 - ・ショッピングツーリズム振興事業
 - ・商店街再生事業実行委員会
- IT・デジタルを活用した販路拡大
- 動画制作支援事業

人材育成 委員会

【人材開発部】

- 社会人の学び直し支援 ～リカレント・リスキリング～
 - ・社会人の学び直しを支援するリカレント・リスキリング事業の実施と広報
 - ・ITやコミュニケーション等、必須となる能力・スキル向上を図る研修の拡充
- 多様な人材の活躍推進 ～ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン～
 - ・女性、外国人、高齢者、障がい者等多様な人材の確保、活躍推進の取り組み
(活躍する女性リーダー表彰(愛称：ブルーローズ表彰)の実施)
(女性リーダーのネットワーク構築の促進)
(外国人留学生採用のための学校と企業との情報交換会の実施)
(「OSAKA 外国人材受入促進・共生推進協議会」等への参画)
- 若手人材の確保・活躍推進
 - ・キャリア形成、ネットワーク構築の促進する講座・交流会の開催(「ツナガル若手共創プロジェクト<仮称>」)
 - ・大学と企業との就職情報交換会や企業採用担当者向けセミナー等の開催
- 中小企業の人材育成支援
 - ・階層・分野別研修の開催
 - ・本会議所企画検定試験(メンタルヘルス・マネジメント検定、ビジネス会計検定)の全国での実施とさらなる普及・拡大
 - ・日商・東商検定試験の実施や各種受験対策講座の開講
 - ・大阪企業家ミュージアムの主展示(企業家105人)や特別展示、各種講演会の開催と、企業家インタビュービデオ等コンテンツの拡充

本会議所が事務局を担当する団体等一覧

総務企画部

- 関西商工会議所連合会
- 大阪府商工会議所連合会
- 関西商工会議所女性会連合会
- 大阪府商工会議所女性会連合会
- 大阪商工会議所新人会
- 大阪商工会議所議員懇親会
- 大阪チェンバーゴルフ

国際部

- 大阪対外ビジネスプロモーション協議会
- 関西日加協会
- 産業交流センター

産業部

- 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
人工知能技術コンソーシアム 関西支部
- 都心型オープンイノベーション拠点「Xport」

地域振興部

- 水と光のまちづくり推進会議
- 全国水都ネットワーク
- 本町橋100年会
- 食創造都市 大阪推進機構

人材開発部

- 大阪販売士協会
- 大阪簿記会計学協会
- 企業家研究フォーラム

